

ほっかいどう

広報紙

その先の、道へ。北海道
年5回発行(5・7・9・11・2月の下旬)



道産品が
当たる!
裏表紙をチェック!

2016年
12月号
平成28年11月発行
通巻218号

【特集】未来と地域を担う人づくり

北海道を動かすのは人。 未来を切り拓く 力強い担い手を育てていきます。

社会の変化とともに、グローバル化が加速しています。
道では、これからの時代に求められる人づくりに取り組んでいます。



北海道の発展のため
地域で、そして世界で
活躍できる人づくりに
取り組んでいきましょう。

北海道知事 小池百合子



「世界の中の北海道」の 視点で人づくり

北海道では、全国を上回るスピードで人口減少と少子高齢化が進み、未来と地域を担う人づくりが大きな課題となっています。

その一方で、道内に住民登録をしている外国人登録者や留学生などが近年増えているほか、アジアをはじめとする外国人観光客の増加や道産食品の輸出拡大など、経済活動でも急速にグローバル化が進んでいます。

こうした変化に対応し、北海道の発展につながる新たな一歩を踏み出すためには、「世界の中の北海道」という視点を持ちながら、「世界」や「地域」を見すえた人材育成に取り組むことが求められています。

幅広い人づくりが 未来づくりへ

そこで道では、世界を見すえ広い視野を持ったグローバル人材の育成をはじめ、子どもたちを対象に、郷土

への理解と愛着を深めることで将来地域で活躍できる人材を育てようと、小中高を通して体験学習などを行う「小中高一貫ふるさとキャリア教育」や、女性・若者への起業支援など新たな地域経済の担い手づくりに取り組んでいます。

特に、ことし9月に取りまとめたグローバル人材の育成方針では、北海道に求められるグローバル人材像を単に語学力に優れた国際人ではなく、「北海道への誇りと異なる文化への寛容を身につけ、国際社会に貢献する高い志と広い視野を持って、地域や世界の課題解決に向けて主体的に取り組もうとする意思を持つ人材」と位置づけました。

例えば、地域で暮らす外国人と積極的にコミュニケーションを図って交流できる人材や、海外に向けて道産品の輸出取引を行うなど、販路の拡大を担う人材などを想定しています。

今後は、こうしたグローバル人材を育成していくための機運醸成はもとより、人材の育成や活用について話し合うネットワークの形成を図るとともに、若者の夢に向けたチャレンジを応援できる海外留学の促進といった、新たなグローバル人材の輩出を促す取り組みなどを通じて、北海道の未来を切り拓く人づくりを進めていきます。

人材育成は 息の長い取り組み

未来と地域を担う人づくりは、長い年月を必要とする取り組みです。そのためにも、いまを生きる私たちがしっかりと地域で人材育成に取り組む、次の世代に引き継いでいかなければなりません。

時代や社会は変わっても、北海道を動かしていくのは人の力。人が輝く、活力ある北海道を目指して、それぞれの地域で人材育成を進めていきましょう。

中面では、その具体的な取り組みを紹介いたします。

北海道クイズ
ほっかいどう
北方領土イメージ
キャラクターの名前は?
E○かちゃん
答えは中面下に▶

▶特集(表紙)に関するお問い合わせ 道庁政策局 ☎(011)206-7380
グローバル人材の育成については、道のホームページで閲覧できます。 [北海道 グローバル人材育成](#)

世界を見つめて活躍できる人づくり

●北海道イングリッシュキャンプ事業

道では、北海道のグローバル化を支えるリーダーとなる人材を育成するため、生きた英語を学ぶ「北海道イングリッシュキャンプ事業」に取り組んでいます。

今年度は、小中学生向けの「イングリッシュキャンプ」を道内6カ所で開催。また、高校生を対象にした「スーパーイングリッシュキャンプ」を夏に深川市で開催しました。

高校生向けのスーパーイングリッシュキャンプは夏と冬の年2回、合計7泊9日の宿泊生活を通して、外国語指導助手(ALT※)や留学生、通訳案内士などと一緒に過ごしながら英語によるコミュニケーション力を高めるとともに、国際感覚を磨きます。また、ディベートやプレゼンテーションなど発信型の英語活動を通して、リーダー

シップや積極性を高めています。

夏のキャンプに参加した生徒が冬のキャンプで再会し、互いの成長や英語力の伸びを確かめ合うことが、英語を学び続ける意欲の向上に結びついているようです。

▶道教育委員会高校教育課 ☎(011)204-5764
※ALT…小学校、中学校、高等学校の外国語授業で日本人教師を補助する外国人



一昨年度のスーパーイングリッシュキャンプ

英語漬けの環境でつかんだ手応えが力になりました。



早稲田大学国際教養学部2年
野口 佳恵さん
(イギリス留学中)

スーパーイングリッシュキャンプに参加したのは、高2のとき。英語が好きで、学校のポスターで「英語漬けのキャンプ」という内容にひかれたのがきっかけです。

キャンプでは、海外のニュース番組を参考にチームでニュースビデオを作るなど面白い活動ばかりでした。一番印象に残っているのはディベートで優勝したこと。伝えたいことがうまく出

てこないもどかしさを感じましたが、とても手応えのある経験でした。

キャンプでは、つたない英語でもみんなが真剣に耳を傾けてくれるので、ミスを怖がるよりも伝えようとする気持ちが大事だと実感しました。

このキャンプへの参加がきっかけとなり、英語の勉強に弾みがきました。大学の授業についていけるまで英語力が伸び、大学入学後は英語で一般教養を学んでいます。さらに現在はロンドンの大学に留学し、経営の勉強をしています。

大学卒業後は、外資系コンサルティング会社で仕事をすることが目標。将来は起業も視野に入れ、語学力とコミュニケーション力を高めたいと思います。

特集

未来と地域を担う人づくり

明日を拓いていく人を育て、北海道をもっと元気に！

世界や地域で活躍する、意欲あふれるたくましい人材がたくさん育てほしい。そうした願いで道が進めている、さまざまな取り組みを紹介。

未来に向けた地域力を高める人づくり

●小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業

道では、子どもたちが地域に親しみながら成長し、地域の未来を担う社会人・職業人として自立することを願って「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」に取り組んでいます。

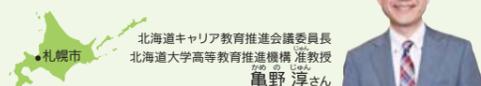
これは、小学校、中学校、高等学校を通して子どもたちが自らの将来像を描けるよう、職業体験などから地域について学ぶというもので、道や市町村、地域の産業界などと構成し、14振興局の地域ごとに設置されている「地域未来づくり会議」の支援により、道内50校の研究指定校で取り組んでいます。

取り組みの一つ「地域ダイスキ！プロジェクト」では、高校生と中学生が仮想の町を運営し、小学生に社会のしくみを教える「キッズビジネスタウン」や、中高生が町長と意見交換を行う「中高生まちづくり議会」などを開催。

子どもたちは学習活動を振り返りながら、自分の将来や職業を考える「キャリアノート」を作成し、今後に役立てていきます。

▶道教育委員会高校教育課 ☎(011)204-5705

地域への愛着を育むことが子どもたちの成長を支えます。



北海道キャリア教育推進会議委員長
北海道大学高等教育推進機構 准教授
亀野 淳さん

小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業は、いわば学校教育を通じた地域活性化の取り組み。学校同士が連携し、地域の資源を題材としながら、子どもたちの成長を切れ目なく見守っていかうとするものです。

子どもたちのふるさとに対する愛着の度合いは、地域のことをどれだけ知っているかという要素が大きい。だからこそ、地域の魅力ややすらしさについて体験的に学ぶことは、できるだけ早い時期から始めるのが大切だと思います。

また、小中高の子どもたち同士がふれあうことにより、身近な先輩・後輩として互いに成長を確かめ、学び合うことができます。

学校で学んでいることの一つ一つが身近な地域や社会とつながっていると実感できたとき、子どもたちは地域への愛着を土台にして成長していけるのだと思います。



釧路管内で行われた「キッズビジネスタウン」

お知らせ

北海道

お問い合わせは
▶マークの窓口、またはホームページへ。

自動車税の軽減制度が変わります

平成29年4月1日から、障がいのある方のために使用する自動車などの自動車税の軽減措置に申請期限が設けられます。減免を受けるためには、期限までに申請が必要です。

区分	申請期限	
自動車取得税	登録日の2カ月後	
自動車税	4月1日、既に減免要件に該当している方	納期限(5月31日)
	年度の途中で減免要件に該当した方(障害者手帳の新規交付など)	要件に該当した日の2カ月後
障がいのある方のために使用する自動車を入れ替えた方	登録日の2カ月後	

なお、課税免除を受けている方で、使用状況などに変更がない場合は、減免として継続しますので申請は不要です。

[問い合わせ先]
札幌道税事務所自動車税課
自動車税課課 ☎(011)746-1194
▶道庁税務課 ☎(011)204-5062

児童虐待の相談は189番へ

全道の児童虐待相談件数は増え続けており、平成27年度は過去最高となりました。次のようなときには、いちちはやくお電話ください。

- 「あの子、もしかして虐待を受けているのかしら…」と気づいたとき
- 「子育てがつらくて子どもにあたってしまふ…」と思ったとき など

児童相談所全国共通ダイヤル
189
※一部のIP電話からはつながりません

▶道庁子ども子育て支援課 ☎(011)204-5237

エコ&セーフティドライブを

道では、燃費良く走ってCO₂排出量を減らし、ゆとりある運転で交通安全にもつながるエコ&セーフティドライブの取り組みを進めています。皆さんのご協力をお願いします。

[エコドライブのための10のすすめ]

- ①ふんわりアクセルで発進
- ②加速、減速を少なく
- ③減速時は早めにアクセルを離す
- ④エアコンの使用は控えめに
- ⑤駐車時はアイドリング・ストップ
- ⑥外出前に道路交通情報を確認
- ⑦タイヤの空気圧はこまめにチェック
- ⑧不要な荷物はおろす
- ⑨迷惑駐車はやめる
- ⑩燃費を把握してエコを実感

▶道庁低炭素社会推進室 ☎(011)204-5189

ノロウイルスに注意

毎年11月ごろから、ノロウイルスによる食中毒や感染性胃腸炎の発生が増加します。予防のため、次のことに気をつけましょう。

- 調理や食事の手洗いは、温水で石けんを使い、2回繰り返す。
- 食品や調理器具などは加熱する。消毒には塩素系消毒剤などを使う。
- 体調不良のときは、食品を扱う作業をしない。

▶道庁地域保健課 ☎(011)204-5253

▶道庁食品衛生課 ☎(011)204-5261

寄附禁止のルールを守ろう

政治家が選挙区内の人にお金や物を贈ることや、有権者が政治家に寄附を求めることは公職選挙法で禁止されています。明るくきれいな選挙のため、ルールを守りましょう。

- [禁止の対象]
- お歳暮・お年賀
 - 入学祝い・卒業祝い
 - 落成式・開店祝いなどの花輪
 - 病氣見舞い
 - 葬儀の花輪・供花
 - お祭りや集会などへの差し入れ
 - 秘書などが代理で出席する場合の結婚祝い・葬儀の香典 など

▶北海道選挙管理委員会事務局 ☎(011)204-5153

必ずチェック 最低賃金!

年齢やパート、学生アルバイトなどの働き方の違いにかかわらず、すべての労働者に適用される北海道最低賃金が10月1日から改定されました。

時間額 786円

詳しくはホームページをご覧ください。

▶道庁雇用労働課 ☎(011)204-5354

ワンダー☆ミュージアム2017 キャッチ・ザ・カラースをつかまえる!

この展覧会では、世界中にあるさまざまな色の名前を手がかりに、作品にひそむ無限の色の世界を見つめます。

ぜひ、作品の中に初めて出合う色を見つけてください。

◎期間/11月23日(水・祝)~2017年4月9日(日)
◎休館日/月曜日(1/9、3/20を除く)、12/29(木)~2017年1/3(火)、1/10(火)、3/21(火)

◎時間/9時30分~17時(入場は16時30分まで)

◎観覧料/一般510円、高校・大学生250円
※中学生以下、65歳以上は無料



▶道立近代美術館 ☎(011)644-6882

地域 ニュース

総合振興局・振興局の話題をお届けします。

上川総合振興局
朱鞠内湖で、異次元の冬を体験しませんか
上川管内・幌加内町の朱鞠内湖は、原生林に囲まれた神秘的な湖。夏は幻想的な湖を目的に多くの釣り人が訪れますが、冬もたくさんのアウトドア体験が楽しめます。朱鞠内湖へ向かう道の両側には高い雪壁で囲まれ、まさに非日常の世界。スノーモービルで行く湖の奥深くでは、白く覆われた島々や時には氷が花のように見えるフロストフラワーを眺めることができます。また、ワカサギ釣りは道具の貸し出しやスタッフの指導が充実。湖畔のレストランでは、幌加内そばや地元の山菜をふんだんに使ったメニューを楽しめます。

▶上川管内幌加内町観光協会 ☎(0165)35-2380

空知総合振興局

空知地域の活性化と知名度アップを目的に、ことし5月、総合振興局と管内24市町による協議会が発足しました。

協議会がキャッチコピー「そらち・デ・ビュー」には、道内外へ空知がデビューしていくことや、皆さんが観光や移住で空知にデビューして欲しいなどの意味が込められています。また、ロゴマークは空知を象徴する「米、酒、石炭、雲」をモチーフに作成しました。キャッチコピーとロゴマークはイベントなどへ出展する際に活用していきます。どうぞご注目ください。

白振興局

日高管内の様似町には、さまざまなかんらん岩から成る山々や渓谷、固有の高山植物群落、そして、海岸の特殊な地形により良港であったため、交易の拠点として栄えてきた歴史と文化があります。

アポイ岳ジオパークは、様似町特有の自然環境や歴史、文化を学び、楽しむための大地の公園です。2015年にはユネスコ世界ジオパークの認定を果たし、登山客も大きく増えました。冬も、白銀のアポイ岳山などさまざまな体験が待っています。ぜひ一度訪れてみませんか。

▶アポイ岳ジオパーク ☎(0146)36-2120

道議会から

定例会の概要などをお伝えします。

平成28年第3回定例会(9/13~10/7)

代表質問(5人)では知事の政治姿勢や道政全般について、一般質問(22人)では道政上の重要な諸課題について活発な議論が交わされました。

これらの議論の経過を踏まえ、8月の大雨災害の早急な検証と道民の安全安心確保、鉄道の重要な役割を踏まえた公共交通ネットワークのあり方の早急な検討、中小企業の経営力強化と労働者の最低賃金引き上げ、北海道未来人材支援基金の制度設計の早急な検討、サハリン定期航路の運航支援について意見が付された上で、知事から提案された予算案8件、条例案6件、その他の案件の23件を原案可決、人事案件2件が同意議決され、決算4件が継続審査となりました。

また、議員及び委員会から提出された決議案1件、意見案11件が原案可決されました。

■平成28年度一般会計補正予算

- 総額 58億8200万円(第3号)
- 総額 650億4300万円(第4号)
- 総額1222億2000万円(第5号)

■可決された決議案

- 朝鮮民主主義人民共和国のミサイル発射及び核実験に抗議する決議
- 可決された意見案

- 朝鮮民主主義人民共和国のミサイル発射及び核実験に関する意見書
- 台風7号、台風9号、台風10号、台風11号及び平成28年9月における前線

による災害対策に関する意見書

▶道庁中小企業課 ☎(011)204-5331

の構築などを進めています。

▶道庁中小企業課 ☎(011)204-5331

※モニター…ここでは「先輩起業家」の意味



昨年度の起業志望者向け「実践起業塾」

やりたいことと信用力を高めることが、成功の鍵。



(株)MASSIVE SAPPORO
代表取締役 山本 健治さん

東京の不動産業界での8年間の経験をもとに、2011年に創業。故郷の札幌に戻り、一つの家に複数の入居者が暮らして暮らす「シェアハウス」を北海道で初めて立ち上げました。

シェアハウスの魅力は、入居者同士の交

流が生み出す非日常性と人間らしいコミュニティ。現在は道内11物件のシェアハウスのほか、シェアオフィスや民泊事業にも取り組んでいます。

道の実践起業塾で私の起業体験をお話ししましたが、企業経営は改善の繰り返し。課題の質が上がるほど、経営者として学ぶことも増えていきます。

起業を成功させるには、「やりたいこと」と「信用力」をバランス良く高めていくことが大事だと思います。最初からガツガツと儲けに走らず、のびのびとやりたいことにエネルギーを注げる北海道の風土は、女性や若者が起業にチャレンジしやすい土地柄といえるかもしれません。

いまこそ、北方領土

～道民の願いをひとつに、みんなで返還の実現を～



歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の北方領土は、いままでに一度も外国の領土となることがない、わが国固有の領土です。戦後71年が経過したいまも、北方四島は返還されず、日本とロシアの間には、平和条約が締結されていません。



2016北方領土返還要求北海道・東北国民大会

1万7千名を超える元島民の方々は、すでに6割以上の方が亡くられており、一日も早い返還が望まれています。こうした中、北海道は市町村や関係団体などと協力し、ことし8月26日に「2016北方領土返還要求北海道・東北国民大会」を開催したほか、道内各地で、署名活動や街頭啓発、北方領土展などを行っています。

また、元島民の方々や運動関係者が北方領土を訪問する北方四島交流事業や、ロシア極東地域との経済交流などを通じて相互理解を図り、領土問題解決に向け取り組んでいます。

一方、日ロ首脳会談がことし5月にロシアのソチで、9月にはウラジオストクで開催されました。両首脳間で、いままでの発想にとらわれない「新しいアプローチ」で交渉を積極的に進めていくことや、8つの「協力プラン」により経済交流など二国間の協力を進めていくことで合意しました。



赤れんが庁舎前庭での署名活動

そして、12月15日(木)には、山口県で日ロ

首脳会談が開催されます。北方領土返還を実現するための外交交渉を強力に後押しするには、世代を超えて道民一人一人がこの問題を正しく理解し関心を高め、世論の結集を図っていくことが大切です。

道民の皆さんの「声」で北方領土の早期返還を実現しましょう。

- 【返還要求運動の主な取り組み】**
- 12月1日(木) 北方領土返還要求アピール行進(東京) 北方領土返還要求「全道一斉街頭啓発」
 - 2017年
 - 1月21日(土) “北方領土を考える”高校生弁論大会
 - 2月4日(土) 北方領土早期返還祈念合唱コンサート
 - 2月7日(火) 2017北方領土フェスティバル



「北方領土の日」啓発ポスター



返還要求運動のシンボルの花「千島桜」

- ▶道庁総務部 北方領土対策本部
☎(011)204-5069
- ▶公益社団法人 千島歯舞諸島居住者連盟
☎(011)205-6200
- ▶公益社団法人 北方領土復帰期成同盟
☎(011)205-6500

※「北海道ひと・人・くふう」コーナーは、今回お休みいたします。次号をお楽しみに。

キラキラ! 子どさん

道内各地で、未来に向かってきらきら輝くそんな子どもたちを応援します。

宇宙に関する体験を通して、冒険心や好奇心を育てています。

日本宇宙少年団北海道ブロック協議会

- ①札幌市
- ②釧路市
- ③苫小牧市
- ④余市町
- ⑤大樹町

宇宙や科学への興味とチャレンジする心を育成する日本宇宙少年団。道内では札幌、釧路、苫小牧、余市、大樹の5つの分団が活動中です。将来、宇宙で生活や仕事をするを目標に、無重力の環境や宇宙での衣食住などを学んでいます。また、水と空気



光の観測装置の製作

の力で飛ぶロケットの実験や宇宙食の体験なども行っています。さらに、道内の団員同士をはじめ、宇宙に関わる技術者とも交流。北海道ブロック協議会長の藤島豊久さんは「交流で刺激を受けるようです。宇宙飛行士だけではなく、さまざまな技術者の仕事を知り、将来の夢を描く子もいます」と子どもたちの未来の姿を楽しみにしています。

▶お問い合わせ 日本宇宙少年団北海道ブロック協議会 ☎(0144)33-9158

北海道の人口	総人口	男	女
平成28年9月末	5,377,435人	2,540,235人	2,837,200人
前年同月比	29,427減	14,978減	14,449減

※人口は年4回公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

次号のお知らせ

当たる! 北のおいしさ!

ホクレンのじゃがいも・玉ねぎ詰め合わせをプレゼント!

[男しゃく(L・3kg)メークイン(特M・3kg)玉ねぎ(L・4kg)]

●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

次のアンケートに答えて道産品を当てよう!

- 12月号の中で興味を持ったのは、どの記事ですか
- ①特集(未来と地域を担うづくり)
 - ②お知らせ北海道 ③地域ニュース ④道議会から
 - ⑤いまこそ、北方領土 ⑥キラキラ! 子どさん

抽選で30名様



●応募方法: アンケートの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。

●応募期限: 12月26日(月)必着 応募いただいた方の個人情報、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。

●応募先: ハガキ ☎060-8588(住所不要) 携帯サイト

北海道広報広聴課「当たる! 北のおいしさ!」係

パソコン 広報紙ほっかいどう

●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧も上記からアクセスできます。 ※10月号のプレゼントには、5,225件の応募をいただきました。



この広報紙は環境に優しい植物性インキと古紙配合率70%再生紙を使用しています。本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

広告

※この広告は、広告主の責任において北海道が掲載しているものです。